

2006年3月1日発行 第45巻 第3号
通巻534号 昭和40年1月20日 第三種郵便物許可

KOBEを愛して45年／月刊 神戸っ子

KOBECCO

3 2006
March
vol.534



一番機飛び発つ！
特集Ⅰ 神戸空港開港ルポ

特集Ⅱ バーナード・リーチ

新井満 KOBEを歩く(前編)

Pearlvaria

アレンジ、自在。私流。

パールヴァリエ

その時の気分やファッションにあわせて、
多彩な変化を楽しめる

ロングネックレス・パールヴァリエ。

あこや真珠とクリスタルストーンが織りなす
新しいアレンジが、私のセレクトカジュアル。

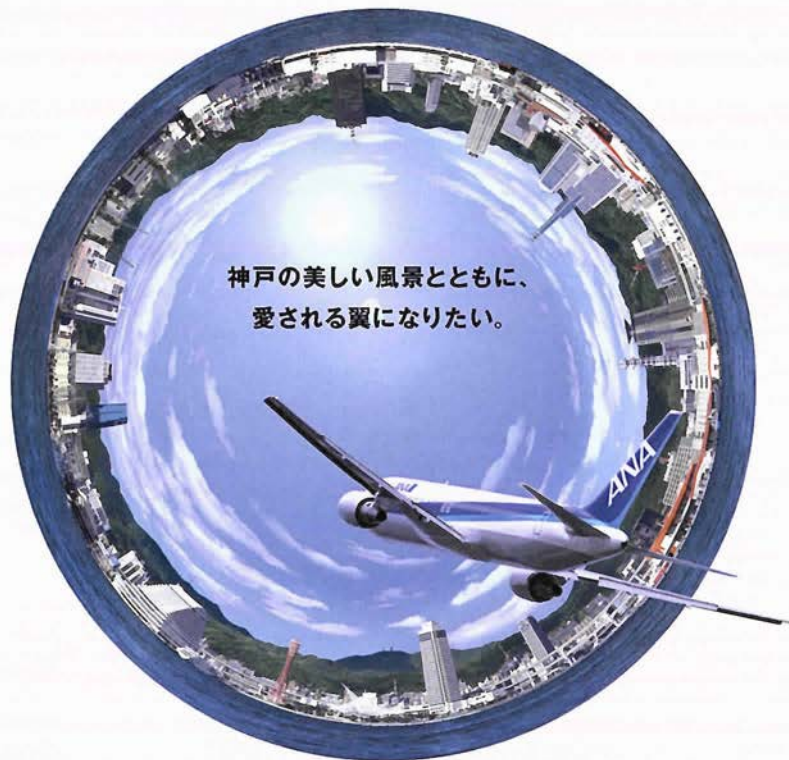


TASAKI

Tokyo Kobe New York Antwerp Hong Kong Beijing Shanghai Taipei

国内主要店舗(札幌・仙台・東京・千葉・横浜・名古屋・富山・京都・大阪・神戸・広島・福岡・長崎)にて取り扱っております。
広告のお問い合わせ/お客様サービス窓口 ☎0120-111-446(受付時間 平日9:00~17:00) www.tasaki.co.jp

海、山、空、ANA



神戸空港 から国内主要6都市へ就航。

ANA

ANAホームページ
携帯サイト

www.ana.co.jp

国内線予約センター ☎ 0120-029-222

携帯電話から (有料PHS・国際電話除く) 0570-029-222

三宮駅すぐのグルメプロムナードへ

2F

ていねいに抽出したコーヒーが自慢のカフェテラス

喫茶



UCC Café Plaza

■営業時間 8:00~21:00
【土・日・祝】9:00~21:00 (L.O 20:45)
■モーニングサービス/8:00~11:00
【土・日・祝】9:00~11:00
■ランチ/11:00~14:00
TEL.078-391-4057



9F

神戸の夜景を眺めながら特選黒毛和牛をふんだんに

あぶり工房



あぶり工房
アブリカ

■営業時間
ランチ/11:00~15:00 (L.O 14:30)
ディナー/17:00~23:00 (L.O 22:00)
【土・日・祝】11:00~22:30 (L.O 21:30)
TEL.078-331-2929



10F

日本各地から取寄せた旨い物と名酒に出会える

レストラン&BAR

燦
DYNAMIC
KITCHEN & BAR
SUN

■営業時間
ランチ/11:00~15:00 (L.O 14:00)
ディナー/17:00~23:00 (L.O 22:00)
【土・日・祝】11:00~23:00 (L.O 22:00)
TEL.078-331-1233



9F

大正6年創業の名門料亭の味わいを

日本料理

matsunoya 松通家

松通家

■営業時間
ランチ/11:00~15:00 (L.O 14:30)
ディナー/17:00~23:00 (L.O 21:30)
TEL.078-333-0678



9F

本格イタリアンから選べるコースをカジュアルに

イタリア料理

Papa Milano
TRATTORIA

■営業時間
ランチ/11:00~15:00
カフェ/15:00~17:00
ディナー/17:00~23:00
(オーダーストップ22:00)
TEL.078-331-1122



10F

和空間で関西創作おでんと名古屋コーチンの串焼きを

焼き鳥・おでん

神戸
我
KOTSU

■営業時間
ランチ/11:00~15:00 (L.O 14:30)
ディナー/17:00~23:00 (L.O 22:00)
TEL.078-326-5133



三宮ターミナル 神戸交通センタービル <http://www.kotsu-center-bldg.com>

45th Anniversary KOBEMCO PARTY



主催／有限会社 神戸っ子出版

春。さくら咲く季節に、神戸っ子はおかげさまで創刊45周年を迎えます。4月5日の午後6時半より新神戸オリエンタルホテルで記念の祝賀会、「KOBEMCO PARTY」を開催いたします。神戸っ子賞、ブルーメール賞のセレモニーと神戸空港の開港を祝った楽しい宴です。ぜひ、お誘い合わせの上ご参加ください。

総編集長 小泉 美喜子

KOBEMCO PARTY

日時／2006年4月5日(水) 開演18時30分(受付開始18時)

会場／新神戸オリエンタルホテル10階「The Ballroom」

料金／15,000円(ディナー)

Program

18:30 オープニング・月刊 神戸っ子 45周年記念セレモニー

19:00 神戸っ子賞／ブルーメール賞授賞式

20:10 ショータイム／ハモンド・小田イタル

歌・松本幸三／堀郁子／風さやか・森田まさお

20:40 マリンエアサンバ／神戸っ子サンバチーム

20:50 合唱／指揮・張文乃 歌・一宮神社 桜花合唱団 他

21:00 閉会

■お問い合わせ/お申し込み(有) 神戸っ子出版
TEL 078-265-0155 FAX 078-265-6002

絵/石阪 春生

石付盆栽 (2003)
久保田幸



作家プロフィール



久保田幸(くぼた みゆき)

加古川生まれ。元海軍士官。戦後、土木の仕事を通じて植物や自然に親しむ。50歳のときに独学で盆栽をはじめ、盆栽を通じて信頼と友情を育む「神戸盆栽友和会」を結成。「盆栽はあくまでも趣味」ながら、当初から現在と変わらぬスタイルを貫き、さまざまな植物で独創的な作品を制作。自ら窯を築き、土をひねり鉢をつくる。神戸市在住。

取材協力: Café de 佛蘭西
神戸市灘区天城通8-5-11
TEL/078-881-2122

異彩を放つ盆栽



これは一つの景観。荒々しい岩山に根付いた草木とベンチのアクセントが、様になる「空間」を醸し出している。

素材となる植物は、山に生えた名も知らぬ木枝、庭にあるただの野草と苔。し

かし、植物の生理を理解し、まるで対話するが如く状態を見極め、愛情を込めて日光や水を与え、時には我慢して成長を見守る。「子育てとよう似ております」と久保田さんはその過程を楽しんでいる。

そして野趣あふれる岩石のような鉢と水盤は、久保田さんが自作の窯で焼いた陶器。自然の状態を生かしながらトータルで「鉢映り」を考え、植物と鉢、そして「間」と、全体の調和を思惟する。

「植物は太陽に、鉢は炎にと、人智の及ばぬ領域に託しているのです」と、自然と和しながら自らの技術と感性で、これまでの盆栽のイメージを軽やかに覆す。

生き物である以上、植物は常に変化し、やがて生命は尽きる。その「無常」も作品に託されたメッセージだ。

新しい品種にも積極的に取り組む探求者は、瞳を輝かせ「盆栽には完成がない」とものづくりの快哉を謳歌している。

CONTENTS

8 特集Ⅰ 一番機飛び発つ!

神戸空港開港ルポ



16 特集Ⅱ バーナード・リーチ

- 18 バーナード・リーチを語る
- 22 バーナード・リーチと日本
- 25 兵庫陶芸美術館 開館記念特別展Ⅱ
バーナード・リーチ展
- 26 美術館を楽しもう! 兵庫陶芸美術館レポート

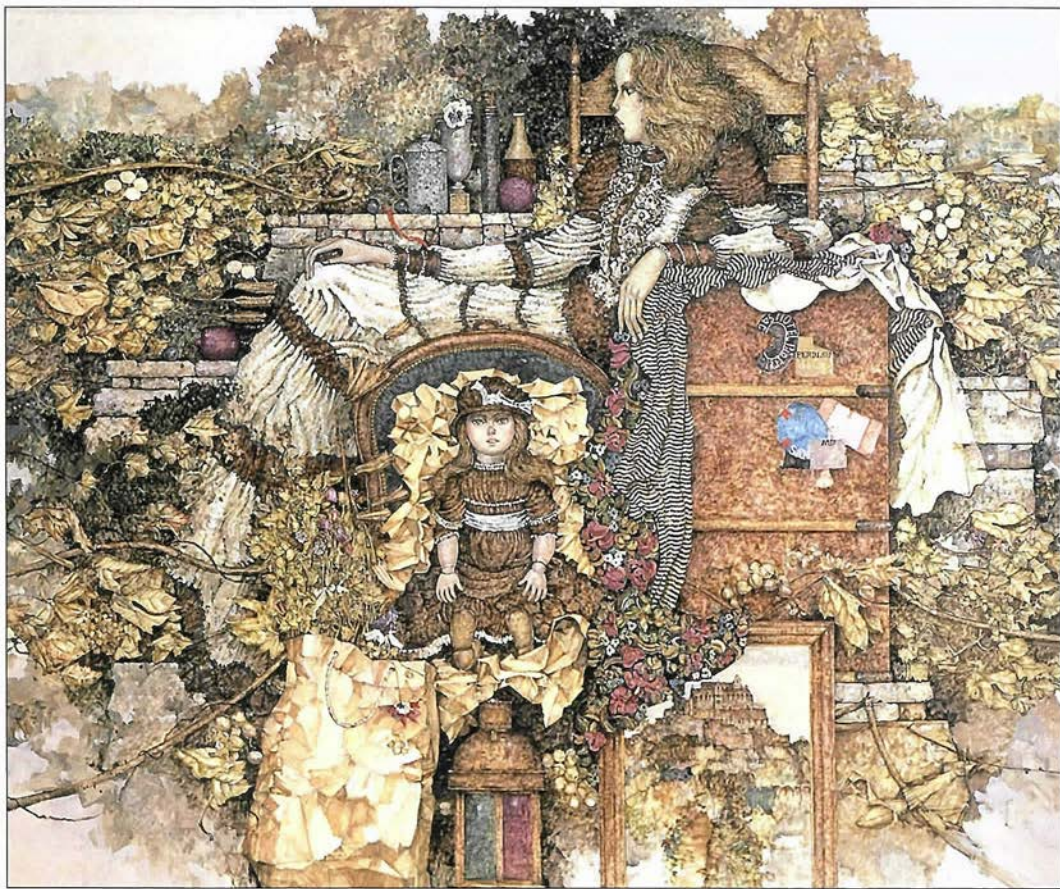


陶板 生命の樹
1928年 京都国立近代美術館蔵

- 4 ART VIEW⑩／石付盆栽:久保田幸
- 7 FRONT ART／石阪春生
- 28 新井満 KOBEを歩く(前編)
- 34 「横綱」の個展によせて／文・妹尾河童 画・林五和夫
- 36 第14回 木彫 はちのす会 作品展
- 38 Santicaリニューアルオープン
- 40 <連載>田中まこの神戸が撮っても好き⑫ 昨年の撮影件数はおよそ300件!!
今日も神戸のどこかでロケが!?
- 44 神戸のお嬢さん／小谷妙子さん 太田由美子さん
- 47 神戸空港開港記念ガイドマップ 神戸ことはじめ 発行
- 48 追悼・仰木彬氏 「がんばろう」をありがとう
- 50 KOBECCO2006／上野潤也さん 胡紅侶さん
- 52 ある集い／三木会 鯉川山手街づくり会

- 55 光線エステサロン バリアブル
- 56 日本初のストレス測定器 Bianka Z
- 58 風さやか 2006年1月17日のタベ
- 60 春のイベント情報／鯉川山手アーバンフェスタ 御影花びらまつり
- 62 話題のひろば
- 64 <連載>トウィンクル&ビッグ⑨(最終回) 藤原健二
- 66 <連載>神戸ゆかりの源平浮世絵 「哀れ!十六歳・敦盛の死と熊谷の苦悩」
中右瑛
- 68 <連載>海船港 「ふじ丸で年経クルーズ」 上川庄二郎
- 71 私の意見／小林郁夫
- 72 有馬歳時記 兆楽に貸切露天風呂付別邸が誕生
- 74 でん太の教えてドクター
- 76 2006年3月の貴方 by龍元の占い
- 77 <連載>六甲味散歩⑧「くいもんや 八代」鈴木正幸
- 78 ぴっといん「ふみちゃん」「MORVAN」「Laelia」
- 80 イベントスケジュール
- 82 ポケットジャーナル
- 84 <連載>プロフェッサーPの研究室 岡田淳
- 86 <連載>震災エッセイ⑫ 文・大谷成章 剪画・とみさわかの
- 88 <連載>コーヒーカップの耳④ 文・出石アカル 絵・菅原洗人 題字・六車明峰
- 90 <連載>五線紙の街⑮ 文・宮田達夫 絵・中西省伍
- 96 コウベスナップ
- 98 Kitano Hot News 「キタノサカス」
- 100 法人会員ニュース
- 105 神戸うまいもん&ドリンキング・百店会ニュース
- 106 神戸うまいもん&ドリンキング名店紹介 「スナックおしゃれ」
- 107 神戸百店会だより 空港にオープンした加盟店
- 121 Present
- 122 編集後記
- 123 定期購読のご案内
- 124 Last Photograph⑪／中山岩太

FRONT ART



石阪春生「人形と古いトランク〈女のいる風景〉」2003年(162×194)エレガノ神戸

2006.
2/16



午前7時5分、一番機JAL1342便が飛び立つ



到着一番機は午前8時着のANA411便



午前7時25分、SKY102便が羽田に向けて出発



航空会社 Airline	飛行機 Flight No.	行先 Destination	時刻 Time
日本航空	1342	東京	7:05
全日空	412	東京	7:10
全日空	417	鹿児島	7:20
スカイマーク	102	東京	7:25
日本航空	3355	鹿児島	8:00



飛翔

特集Ⅰ 一番機飛び発つ!

神戸空港開港ルポ

2006年2月16日、いよいよ神戸空港開港の日を迎えた。長年抱きつづけた神戸空港開港の夢が現実のものとなった。一号機の離陸、新しい店舗のオープン、航空会社スタッフの笑顔。神戸の新たな1ページに感動の文字が刻まれた。





鹿児島県伊藤祐一郎知事も鹿児島観光PRに一番乗り



展望デッキには一番機見たさにこの人だかり



出発口に向かう搭乗者の列



神戸着の一番機を操縦したANA朝田貴明機長



スマイル大使やばたんレディらが搭乗客を出迎えた



開港当日、出発ロビーは人であふれた

午前5時50分、出発ロビー前で神戸空港開港セレモニーが行われた。ターミナル内は一般利用者、関係者、報道陣など人々の熱気に包み込まれた。ロビーの壁面には、環境にやさしく次代へ受け継いでいく「ロハス」のシンボルとなるアースクロックが輝きを放っている。

初フライトはJAL1342の午前7時5分の羽田発。記念セレモニーが終了する頃には、一番機の搭乗客が出口で長蛇の列をつくった。

展望デッキには、あいにくの雨にもかかわらず、一番機をひと目みようという黒山の人だ

感動を呼んだ 神戸の ホスピタリティ



オープニングを飾る和太鼓松村組(2月12日)



北側一雄国土交通大臣も駆けつけた(2月12日)



記念式典には神戸ポートピアホテルに1500人が集った(2月12日)



矢田市長、水越会頭、太田会長が搭乗客を歓迎。3人の笑顔が輝いている



最初に神戸に降り立った搭乗客

かりに。そして、一番機がエンジン音と共に動き出す。ある者は万感の思いを抱き、ある者は歓喜する。さまざまな人々の思いを乗せて一番機は滑走路へ。助走に入ると、西の空をめがけて、一直線にスピードアップ。エンジン音と共に神戸の空に舞い上がった。次の瞬間、周囲からは割れんばかりの拍手が起った。ANA、SKYも続々と離陸。神戸の新たな1ページがこの日から始まった。

午前8時。着陸一番機ANA411便が神戸に降り立った。

到着ロビーでは、矢田立郎神戸市長、水越浩士神戸商工会議所会頭、太田敏郎神戸空港ターミナル会長らが、乗客一人ひとりを温かい拍手で歓迎。

この日神戸に降り立った搭乗客にチュースリップなどの記念品がプレゼントされた。「コンパクトで使いやすい空港」が神戸空港の特徴。派手さはないがホスピタリティあふれる温かい歓迎ぶりに、搭乗客も胸を打たれた様子。感動の



神戸ポートピアホテル中内仁社長は鹿児島行の一番機に



神戸空港のシンボルとなるアースクロック



午前8時ANA411便が最初に神戸に降り立った



ANA



JAL



SKY

旅客ターミナル内では、もうひとつの開港があった。ターミナル内に入店する店舗にとってもいよいよ本番を迎えた。出発ロビーに出店した田崎真珠では、午前9時前にテープカットで開店。田崎俊作社長からスタッフへ一言激励の言葉があった。海軍出身の田崎社長がスタッフと共に、ビールを飲み干して開店に臨む光景はまさに出陣式。

出発ロビーを一望できる上島珈琲店の上島成介さんは、来店するお客さんを笑顔で出迎える。「神戸らしさにこだわって、神戸ビーフをつかったサンドウィッチを販売しま

コーヒー、真珠、洋菓子 神戸ブランド店 続々オープン



ゴンチャロフ



田崎真珠



UCC上島珈琲の上島成介さん



上島珈琲店



上島珈琲店

す。神戸ビーフは原価も高くなりませんが、その美味しさを味わっていただければ。」

日本にはじめてブラジルからコーヒーが伝わったのが神戸。その関わりを神戸空港でも体感してもらおうと、神戸空港ターミナル（株）と共同でUCC上島珈琲（株）は、到着ロビーに、コーヒーの香りを送風機で送り込み、搭乗者を歓迎する。

神戸の洋菓子店は、日本国内にその名をとどろかせているが、ゴーフルの神戸風月堂、生チョコレートのゴンチャロフ製菓といった神戸を代表する老舗も続々とオープンした。フレッシュ・ジュースショップ「VEGETERIA（ベジテリア）」は、ロック・フールドが運営。神戸空港ターミナル（株）の直営店となる「MARINEAIR MART」では灘の酒など神戸ブランドをメインにした商品が所狭しと並ぶ。利用者にとっても目移りするほどバラエティに富んでいる。地元企業の神戸空港へかける思いがひしひしと伝わってくる。



「VEGETERIA（ベジテリア）」



神戸風月堂

神戸の絶景と最高の味に酔う

世界一の鮓屋

明石「浦鮓」神戸空港店オープン



「夜は予約のみ。お客さんが列を成していると、早く食べなくてはとあせって食べることに。本当にいいものをつくり味わいながら食べてほしい」と話すのは、明石に本店をもつ浦鮓会長の古谷正明さん。神戸の食通を唸らせる名店だ。神戸空港ターミナルビルの最上階に、神戸空港店がオープンした。インテリアは（株）アイランドデザインの内山恒男さん。淡路島から明石海峡大橋、神戸のまちと六甲山系、滑走路が三方に見渡せる絶景で見事な設計だ。

海の幸の宝庫・明石海峡では、あまりにも有名な昼網。鯛、穴子、蛸、平目、はまち、めばる、あぶらめ、おこぜ、うに、鮑・・・それに何と、伊勢えびまでが明石海峡で採れた天然物というから驚きた。昼網で水揚げされた天然物を競り落として直ぐに搬送する。明石海峡の緩急の差が激しい潮にもまれて、しつこいぐらいに身がよくしまっている。「大トロだけは、明石海峡では採れないけどね」と古谷さんが、冗談まじりに話す。



- ①素材、サービス、景色と三位一体となった浦館。窓越しには、神戸の夜景が広がる
- ②③明石海峡で採れた新鮮な食材をすばやく。その手際のように目を奪われる
- ④店内からライトアップされた幻想的な夜景が浮かび上がる
- ⑤浦館・古谷正明会長(右)と店内の設計を担当した樹アイランドデザインの山内恒男さん(左)
- ⑥社長の山口豊さんは料理長でもある
- ⑦支配人の飯田尚子さんは着物で登場
- ⑧にぎりの盛り合わせ。見た目の華やかさもさることながら、味もびかイチ
- ⑨夜は予約のみという賑わいはつづく
- ⑩木箱を開けると明石海峡で採れたてのネタが詰まっている
- ⑪貴重な由良のウニをふんだんに使う

■明石活魚 浦館 神戸空港店
078-33033545

「世界一の鰯屋」とは大げさだけど、素材へのこだわり、お客さんへの気配り、神戸の絶景が三位一体となって味わえるのだ。さらに、これらの贅沢な魚を「おまかせコース」1万円で味わうことができるのだから驚きだ。こんな贅沢な鰯屋が世界の何処かにあるだろうか。

板さんは、それぞれに木箱を持っている。中を覗いてみると、所狭しと新鮮なネタが詰まっている。板さんは手際よく魚をさばき、お客さんはただその妙技に目を奪われる。時には、網に乗せられた蒸し穴を、時には、由良のウニをシャリの上に盛り付けて。